



岩手労働局発表
平成28年4月15日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 小田 昭信
課長補佐 若月 敏幸
(電話) 019 - 604 - 3007

平成27年(確定値)及び平成28年(3月)の労働災害発生状況を公表します

～平成27年の死傷者数は、前年比11.0%と6年ぶりに減少～

～平成28年(3月)の死傷者数は、前年比11.2%の増加～

岩手労働局(局長 久古谷^{くごたに} 敏行^{としゆき})は、平成27年及び平成28年3月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成27年の死傷者数(確定値)は1,316人となり前年比で162人(11.0%)の減少となり、平成22年から平成26年まで5年連続で増加となっていました。6年ぶりに減少となりました。死亡者数(確定値)は21人と前年比で5人の減少となっています。

平成28年3月までの死傷者数(3月末現在の速報値)は279人で、前年同期比で28人(11.2%)の増加となっています。また、死亡者数(3月末現在の速報値)は5人となっており、前年同期と同数となっています。

岩手労働局では、平成27年は労働災害が減少したところですが、平成28年は再び増加傾向にあることから、特に増加した転倒災害については、引き続き、「STOP! 転倒災害プロジェクト」による労働災害防止対策、災害が増加した建設業については、交通労働災害防止対策や墜落防止対策など、関係業界団体が開催する会議・会合等事業者が参集する機会などを捉え、重点的に周知・啓発を図ることとしています。

(業種別等の発生状況は別添のとおりとなっています。)

平成 27 年 1 月から 12 月末までの労働災害発生状況（確定値）

1 死傷災害（休業 4 日以上） 【表 1】(P.4)【グラフ 1】(P.8)【グラフ 2】(P.9)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は 1,316 人で、前年比で 162 人（11.0%）の減少となっています。

(2) 業種別の状況

前年比で増加した業種は、「接客娯楽業」72 人（前年比 + 8 人、+ 12.5%）、「畜産水産業」61 人（同 + 7 人、+ 13.0%）、「鉱業」7 人（同 + 1 人、+ 16.7%）となっています。

業種をさらに細かく見ると、製造業の中の「水産食料品以外の食料品製造業」103 人（同 + 20 人、+ 24.1%）、建設業の中の「その他の建築工事」60 人（同 + 16 人、+ 36.4%）が増加人数の多い業種となっています。

前年比で減少した業種は、「建設業」267 人（前年比 - 25 人、- 8.6%）、「製造業」298 人（同 - 22 人、- 6.9%）、「農林業」59 人（同 - 22 人、- 27.2%）、「保健衛生業」96 人（同 - 19 人、- 16.5%）、「商業」154 人（同 - 18 人、- 10.5%）、「運輸交通業」159 人（同 - 16 人、- 9.1%）、「通信業」27 人（同 - 5 人、- 15.6%）、「その他業種」114 人（同 - 51 人、- 30.9%）となっています。

なお、「ビルメンテナンス業」以外の「その他業種」の主な業種は、「教育研究業」、「清掃業」、「警備業」です。

(3) 事故の型別の状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、287 人（21.8%）となっています。次いで、「墜落・転落」で 254 人（19.3%）、「はさまれ、巻き込まれ」で 174 人（13.2%）の順となっています。

2 死亡災害 【表 2】(P.5・6)【表 3】(P.7)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は 21 人で、前年比で 5 人減少となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」が 8 人と最も多く、「林業」、「運輸交通業」が各 3 人、「製造業」が 2 人、「商業」で 1 人などとなっています。

前年比では、「商業」で 3 人、「建設業」で 2 人、「運輸交通業」で 1 人減少していますが、「製造業」では増減がなく、「林業」で 3 人増加しています。

(3) 事故の型別の状況

「墜落・転落」、「崩壊・倒壊」、「はさまれ・巻き込まれ」、「交通事故」で各3人、「有害物等との接触」で2人、「転倒」、「飛来・落下」、「激突され」、「高温の物との接触」で各1人などとなっています。

前年比では、「墜落・転落」で5人、「激突され」、「交通事故」で各2人、「激突」、「感電」で各1人減少しており、「有害物等との接触」で2人、「転倒」、「崩壊・倒壊」、「高温の物との接触」で各1人増加しています。

平成28年(3月)の労働災害発生状況(平成28年3月末現在速報値)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表4】(P.11)【グラフ3】(P.14)【グラフ4】(P.15)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は279人で、前年同期比で28人(11.2%)増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「建設業」57人(前年同期比+20人、+54.1%)、「商業」39人(同+11人、+39.3%)、「その他の業種」25人(同+5人、+25.0%)、「接客娯楽業」20人(同+4人、+25.0%)などとなっています。

増減なしは「製造業」61人、「鉱業」3人となっています。

前年同期比で減少した業種は、「運輸交通業」25人(同-11人、-30.6%)、「畜産水産業」8人(同-3人、-27.3%)などとなっています。

(3) 事故の型別の状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、97人(34.8%)となっています。次いで、「墜落・転落」で55人(19.7%)、「はさまれ、巻き込まれ」で29人(10.4%)の順となっています。

2 死亡災害 【表5】(P.12)【表6】(P.13)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は5人で、前年同期と同数となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、「製造業」で2人、「建設業」で1人、「林業」で1人、「商業」で1人となっています。

【表1】

平成27年 1月～12月

労働災害発生状況(休業4日以上)の死傷者数)

岩手労働局

業種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署		
		27年	26年	増減数	増減率									
製造業	食料品	水産食料品	31 (2)	33	-2	-6.1%		8	7	1		11	4	
		上記以外の食料品	103 (1)	83 (2)	20	24.1%	44		1	23	16	10	9	
		繊維・衣服その他繊維製品	8	11	-3	-27.3%	3	1	1	2			1	
		木材・木製品、家具・装備品	42	46 (1)	-4	-8.7%	10	8	3	5	2	7	7	
		パルプ・紙、印刷・製本	5	10	-5	-50.0%	2			2	1			
		化学工業	13	14 (1)	-1	-7.1%	1		1	7	3	1		
		窯業土石製品	13	22	-9	-40.9%	1	1		3	5	1	2	
		鉄鋼業、非鉄金属	5	12	-7	-58.3%			2	3				
		金属製品	25	27	-2	-7.4%	2		2	13	6	1	1	
		一般機械器具	12	13 (1)	-1	-7.7%	3			8			1	
		電気機械器具	15	11	4	36.4%	2	2	3	7			1	
		輸送用機械製造	5	12	-7	-58.3%				4			1	
		電気・ガス	0	0	0									
		その他の製造業	21	26	-5	-19.2%	8	1		7	1		4	
	小計	298 (3)	320 (5)	-22	-6.9%	76	21	20	85	34	31	31		
鉱業														
			7	6	1	16.7%	1		1	2	1	1		
建設業	土木工事		90 (7)	100 (6)	-10	-10.0%	14	15	9	19	8	12	13	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	25 (3)	28 (5)	-3	-10.7%	7	2	3	3	2	5	3	
		木造家屋	63 (2)	76	-13	-17.1%	16	4	4	15	8	8	8	
		その他の建築工事	60 (2)	44 (2)	16	36.4%	32	3		7	9	5	4	
	その他の建設	29 (1)	44 (11)	-15	-34.1%	9	2		7	3	1	7		
	小計	267 (15)	292 (24)	-25	-8.6%	78	26	16	51	30	31	35		
運輸交通業	道路貨物運送業		142 (11)	149 (16)	-7	-4.7%	65	4	6	38	16	7	6	
	その他の運輸交通業		17 (1)	26	-9	-34.6%	10	1		3	2	1		
貨物取扱			2	2	0	0.0%	1		1					
農林業	農業		4	10 (1)	-6	-60.0%	1			2	1			
	林業		55	71	-16	-22.5%	22	5	3	3	12	2	8	
畜産水産業	畜産業		42	40	2	5.0%	12		4	14	3		9	
	水産業		19	14	5	35.7%		3	3			7	6	
商業	小売業		118 (12)	130 (18)	-12	-9.2%	53	5	6	35	5	5	9	
	その他の商業		36 (4)	42	-6	-14.3%	12	2	3	15	2		2	
通信業			27 (11)	32 (15)	-5	-15.6%	14	1	1	6	1	1	3	
保健衛生業	社会福祉施設		65 (3)	92 (6)	-27	-29.3%	19	4	4	18	11	6	3	
	その他の保健衛生業		31	23	8	34.8%	20		3	5	2		1	
接客娯楽業	旅館業		16 (1)	16 (2)	0	0.0%	5	2	1	6	1		1	
	飲食店		34	34 (1)	0	0.0%	24	2		3	3		2	
	その他の接客娯楽業		22	14 (1)	8	57.1%	14	1	2	2		2	1	
その他	ビルメンテナンス業		33 (1)	39 (5)	-6	-15.4%	17	2	3	9			2	
	その他(上記以外の業種)		81 (11)	126 (18)	-45	-35.7%	29	8	5	20	5	4	10	
合計			① 1,316 (73)	② 1,478 (112)	-162	-11.0%	473	87	82	316	130	98	130	
							前年同期	488	134	87	352	173	111	133
							増減数	-15	-47	-5	-36	-43	-13	-3
							増減率	-3.1%	-35.1%	-5.7%	-10.2%	-24.9%	-11.7%	-2.3%

(注) 平成28年3月末の確定値である。

数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

【表2】

平成27年 死亡災害発生状況（平成28年3月31日 現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生月	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業 (その他の卸売業)	1月	水	女	40歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	社用車で東北自動車道を走行中、スリップ事故により中央分離帯に衝突し、追い越し車線で停車していたところに後続の大型トラックが追突した。	
2	一関	建設業 (木造家屋建築工事業)	1月	土	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	その他	その他の起因物	工事現場で、木材加工中、携帯用丸のこ盤で左示指を切断し療養していたが、32日後に破傷風のため死亡した。	民間
3	一関	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	2月	金	男	60歳代 (1年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	社用車で新東名高速道路を走行中トラックに追突した。	
4	釜石	建設業 (港湾海岸工事業)	2月	日	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	有害物等 との接触	異常環境等	潜水し水深約18mで捨石を均す作業中、潜水から約10分後に異常を訴え水面に浮上したが、塞栓症により死亡した。	国
5	盛岡	建設業 (河川土木工事業)	3月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	崩壊、倒壊	その他の仮設物、建築物、 構築物等	現場事務所前の除雪作業中、プレハブの資材小屋(3.5×1.8×2.5m)が突風で倒れ、下敷きになった。	地方公
6	宮古	建設業 (トンネル建設工事業)	4月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	崩壊、倒壊	地山、岩石	トンネル切羽において、火薬の装填作業中、肌落ちが発生し、落下した雷管を回収するため切羽に近づいたところ、岩盤が大規模に崩落し、下敷きになった。	国
7	花巻	製造業 (その他の食料品製造業)	4月	土	男	60歳代 (1年未満)	転倒	通路	キャベツの芯取り作業中に転倒し、床に頭部を打ち頭蓋骨折で入院、5日後に死亡した。	
8	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	5月	金	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	交通事故 (道路)	トラック	花巻市の事業場所属のトラックが国道を走行中センターラインをはみ出し、八戸市の事業場所属のトラックと正面衝突し、双方の運転手が死亡した。	
9	一関	建設業 (その他の建築工事業)	5月	木	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	有害物等 との接触	有害物	建築工事現場において、石綿建材が用いられた建物や付属施設等の補修及び解体作業中の石綿ばく露により、腹膜中皮腫を発症し、療養開始(平成27年5月)から223日後に死亡した。	
10	花巻	その他 (その他の事業)	5月	金	女	30歳代 (1年以上 10年未満)	その他	起因物なし	水道の検針業務のため、加害者の自宅に赴いたところ、加害者自宅内に引き込まれ絞殺された。	
11	宮古	接客娯楽業 (その他の接客娯楽業 その他)	6月	金	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	高温・低温の 物との接触	高温・低温環境	海外研修中、40度以上の高温環境下で熱中症により、死亡した。	
12	花巻	建設業 (その他の土木工事業)	6月	月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	激突され	立木等	杉の木(胸高直径38cm、高さ15m)の伐倒方向を制御するために木材グラップル機のつかみ装置を地上4.4mのところに添えながらチェーンソーで伐木したところ、切断部が暴れ、伐木に激突された。	民間

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
13	大船渡	製造業 (セメント・同製品製造業)	8月	金	男	50歳代 (1年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	建設工事現場においてミキサー車を誘導し、停車させた後に体調不良となり、ミキサー車前方の日陰に座り込んでいたところ、運転手が被災者に気付かず発車したため、当該ミキサー車に轢かれた。	
14	二戸	農林業 (木材伐出業)	8月	火	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	飛来、落下	立木等	杉の木(胸高直径23cm、高さ13m)をチェーンソーで伐倒した際、引っ掛かっていた松の枯れ枝(長さ3m)が被災者の頭部に落下した。	
15	盛岡	その他 (その他の事業)	9月	土	男	60歳代 (1年未満)	墜落、転落	階段、棧橋	見回り中に階段で転落し、踊り場で倒れているのを発見され病院に搬送されたが、同日脳挫傷により死亡した。	
16	二戸	建設業 (道路建設工事業)	9月	水	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	碎石の敷均し作業中、ドラグショベルを後進させたところ、後方で作業していた被災者を轢いた。	地方公
17	釜石	清掃・と畜業 (ビルメンテナンス業)	9月	水	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	乗用車、バス、 バイク	病院敷地内の道路上でマンホール蓋ののぞき窓から流量計の検針をしていた際、バスに轢かれた。10月10日、脳挫傷で死亡した。	
18	盛岡	農林業 (木材伐出業)	10月	土	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	伐木等機械	木材を集材車に積み込むため、グラップルで木材をつかみ上げ旋回させたところ、検材中の被災者が木材を抱きかかえたまま木材とともに空中を旋回した。グラップルの運転者が気付いて旋回を止めたところ、地面に落下した。	
19	二戸	農林業 (木材伐出業)	11月	土	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、倒壊	立木等	民有林の間伐作業現場にて、チェーンソーで伐倒作業をしていた被災者が、かかり木に他の立木を浴びせ倒したところ、さらにかかり木となり、後でかかり木となった木(胸高直径25cm、樹高25mの赤松)が被災者に倒れ、下敷きとなった。	
20	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	12月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	その他	起因物なし	配送先で荷下ろし終了後、トラックの運転席で倒れている所を発見され、死亡が確認された。	
21	盛岡	建設業 (建築設備工事業)	12月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、転落	屋根、はり、もや、 けた、合掌	屋根上の雪止め設置工事で、一般住宅の屋根(2階建て、高さ5.75m)に梯子を立てかけて登ったところ、墜落し、脳挫傷により死亡した。	民間

【表3】

平成27年 死亡災害発生状況 (事故の型別等)

平成28年3月31日 現在

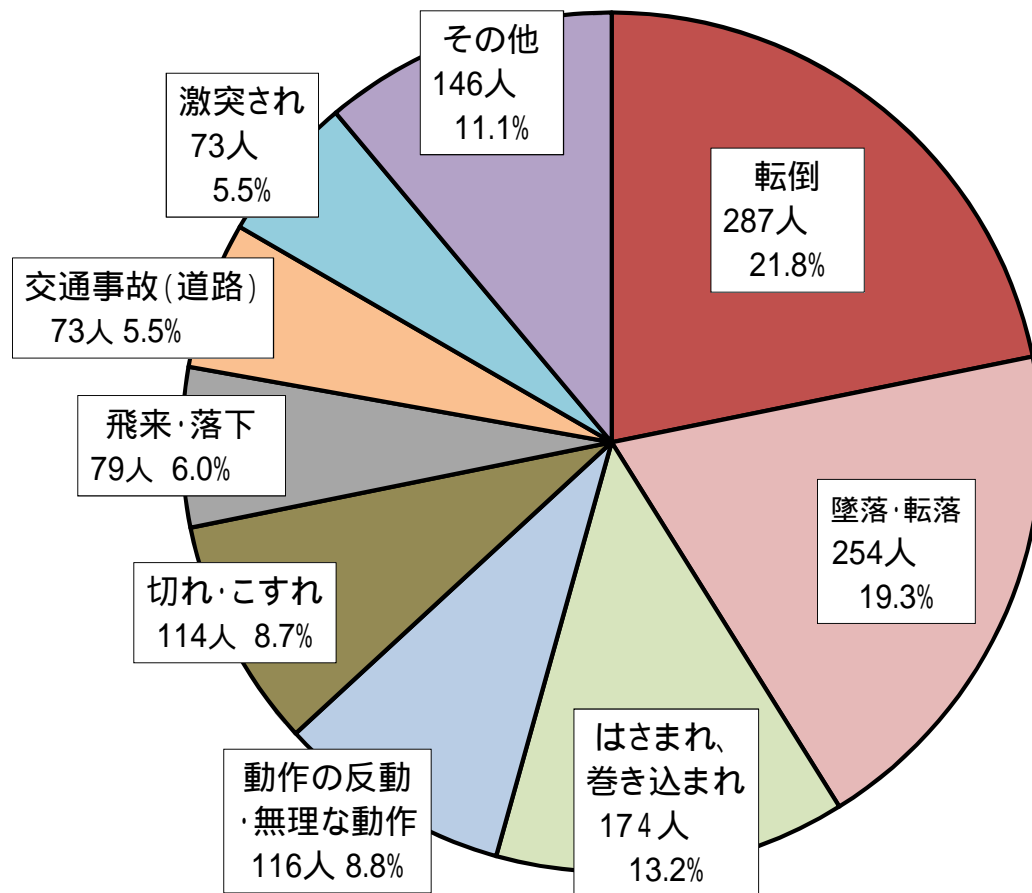
業種別	製造業 2人 (2人)	鉱業 0人 (1人)	建設業 8人 (10人)	運輸 交通業 3人 (4人)	林業 3人 (0人)	商業 1人 (4人)	左記 以外 4人 (5人)	21人 (前年同期26人)
監督署別	盛岡 5人 (8人)	宮古 2人 (6人)	釜石 2人 (3人)	花巻 5人 (5人)	一関 3人 (1人)	大船渡 1人 (3人)	二戸 3人 (0人)	
事故の型別	墜落・ 転落 3人 (8人)	転倒 1人 (0人)	飛来・ 落下 1人 (1人)	崩壊・ 倒壊 3人 (2人)	激突 され 1人 (3人)	はさまれ・ 巻き込まれ 3人 (3人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物 との接触 1人 (0人)	激突 0人 (1人)	感電 0人 (1人)	有害物等 との接触 2人 (0人)	交通事故 3人 (5人)	その他 3人 (2人)	

注：()内は前年同期

【グラフ1】

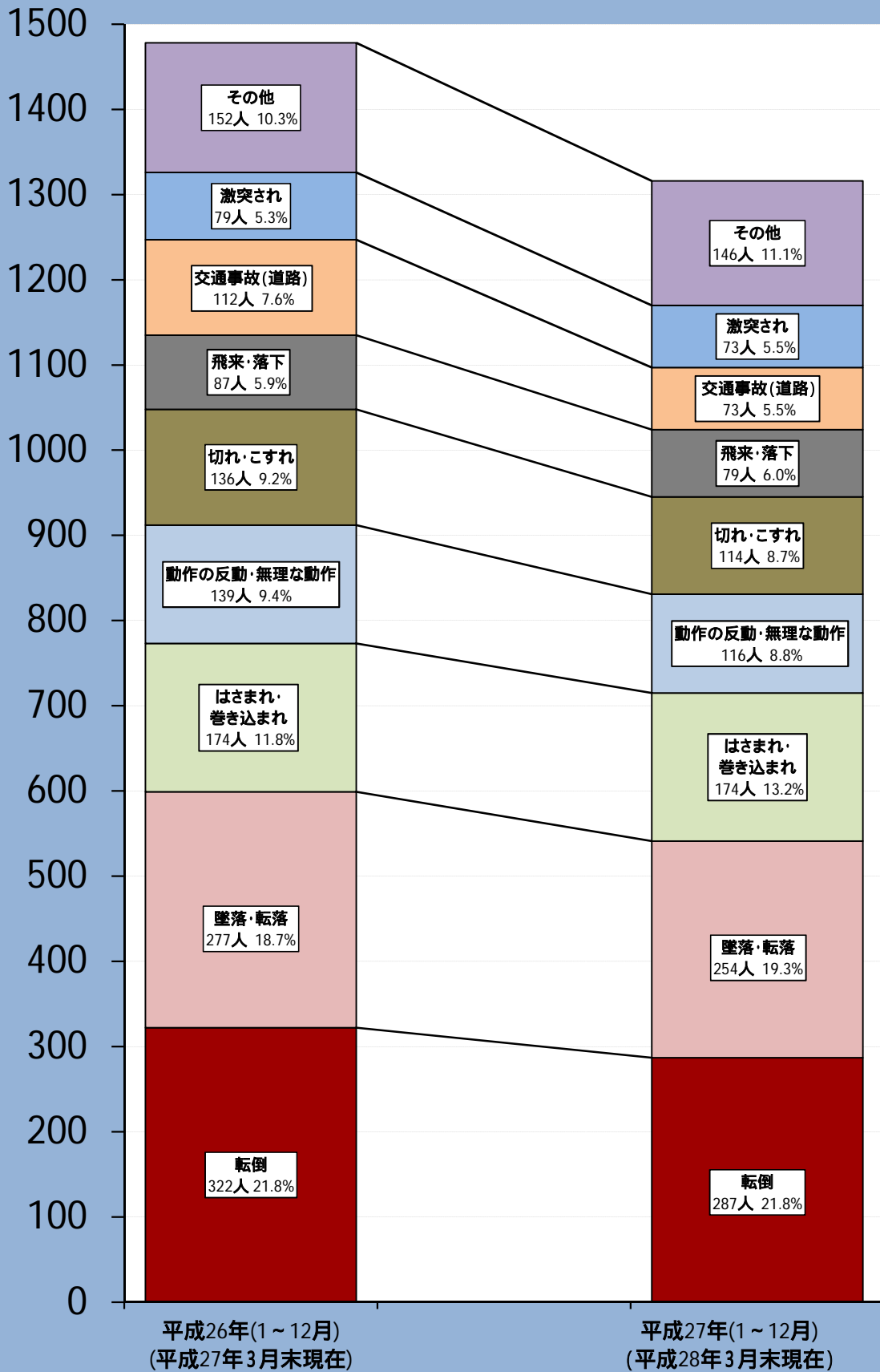
平成27年 1～12月 労働災害発生状況（事故の型別）

岩手労働局



平成28年3月末の確定値である。
数字は死亡者数(内数)である。

事故の型別労働災害発生状況



【参考1】

平成27年

月別労働災害発生状況

(休業4日以上之死傷者数)

岩手労働局

業種		27年計	26年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品	31	33	-2	-6.1%	2		3	5	4	1	3		3	2	6	2	
	水産食料品	103	83	20	24.1%	13	7	10	① 12	4	6	8	9	7	12	10	5	
	上記以外の食料品	8	11	-3	-27.3%	1			1		2		1		1	1	1	
	繊維・衣服その他繊維製品	42	46	-4	-8.7%	2	6	3	3	2	6	3	6	2	2	3	4	
	木材・木製品、家具・装備品	5	10	-5	-50.0%	1				1	1				1		1	
	パルプ・紙、印刷・製本	13	14	-1	-7.1%		1	1	3		2	1	1		2	2		
	化学工業	13	22	-9	-40.9%	1	3	2		1	1	2	1			2		
	窯業土石製品	5	12	-7	-58.3%			1			2				1	1		
	鉄鋼業、非鉄金属	25	27	-2	-7.4%	1	3		4	2	1	2	4	1	4	1	2	
	金属製品	12	13	-1	-7.7%		2	4		2			1	1	1			
	一般機械器具	15	11	4	36.4%		4		2		2	2	1	4				
	電気機械器具	5	12	-7	-58.3%		1	1					1	1	1			
	輸送用機械製造	0	0	0														
	電気・ガス	21	26	-5	-19.2%	3	2	1	2	2	1	2	2	1	4	1		
その他の製造業	298	320	-22	-6.9%	24	29	26	① 32	18	25	25	27	20	30	27	15		
小計	7	6	1	16.7%	2		1	1							1	2		
鉱業	90	100	-10	-10.0%	4	10	① 5	① 5	8	9	4	9	8	9	12	7		
建設業	土木工事	25	28	-3	-10.7%	1	2	1		1	3	5	3	3	2	2	2	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	63	76	-13	-17.1%	4	3	3	9	10	7	5	7	1	5	4	5
		木造家屋	60	44	16	36.4%	2	3	6	5	10	10	10	3	3	3	3	2
	その他の建築工事	29	44	-15	-34.1%	1	3	3	3	1	2	2	4	2	2	4	2	
その他の建設	267	292	-25	-8.6%	① 12	① 21	① 18	① 22	30	31	26	26	17	21	25	18		
小計	142	149	-7	-4.7%	13	① 12	8	15	① 7	8	14	15	14	14	9	13		
運輸交通業	17	26	-9	-34.6%	5	2			1		1	2	1	1	1	3		
その他の運輸交通業	2	2	0	0.0%		1							1					
貨物取扱	4	10	-6	-60.0%						1						2		
農林業	55	71	-16	-22.5%	4	4	2	7	6	3	3	5	4	5	8	4		
畜産水産業	農業	42	40	2	5.0%	2	3	5	3	3	2	5	4	3	2	6	4	
	水産業	19	14	5	35.7%	3	1	2		1		4		1	4	3		
商業	小売業	118	130	-12	-9.2%	13	9	12	10	13	7	8	7	9	12	6	12	
	その他の商業	36	42	-6	-14.3%	5	2	2	1	3	4		3	1	6	4	5	
通信業	27	32	-5	-15.6%	3	4	1	1	1	3	3	4		3	1	3		
保健衛生業	社会福祉施設	65	92	-27	-29.3%	8	7	6	8	4	3	3	4	8	5	5	4	
	その他の保健衛生業	31	23	8	34.8%	4	4		3	1	3	4	2	1	2	4	3	
接客娯楽業	旅館業	16	16	0	0.0%	3	2	3	1	3	1	1	1		1			
	飲食店	34	34	0	0.0%	3	3	7	2	2	2		3	2	4	3	3	
	その他の接客娯楽業	22	14	8	57.1%	3	4	1	2	2	2	1	1	1	1	1	3	
その他	ビルメンテナンス業	33	39	-6	-15.4%	2	1	3		8	2	4	1	2	4	2	4	
	その他(上記以外の業種)	81	126	-45	-35.7%	5	9	4	11	4	6	9	8	7	9	5	4	
合計	⑳ 1,316	㉔ 1,478	-162	-11.0%	② 114	118	① 101	119	107	103	111	114	91	125	111	102		

(注)平成28年3月末確定値である。

数字は死者数(内数)である。

【表4】

平成28年 1月～3月

労働災害発生状況(休業4日以上)の死傷者数

岩手労働局

業種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
		28年	27年	増減数	増減率							
製造業	水産食料品	5	3	2	66.7%		2				2	1
	上記以外の食料品	18	22	-4	-18.2%	9			6	1	1	1
	繊維・衣服その他繊維製品	1	1		0.0%	1						
	木材・木製品、家具・装備品	7	9	-2	-22.2%	1	2	1	1			2
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1		0.0%				1			
	化学工業	3	2	1	50.0%				1	1	1	
	窯業土石製品	4 (1)	4		0.0%			1	1	2		
	鉄鋼業、非鉄金属		1	-1	-100.0%							
	金属製品	12 (1)	4	8	200.0%			2	7	3		
	一般機械器具	1	4	-3	-75.0%				1			
	電気機械器具	2	3	-1	-33.3%	1			1			
	輸送用機械製造	5	2	3	150.0%	1		1	3			
	電気・ガス											
	その他の製造業	2	5	-3	-60.0%				1	1		
小計	61 (2)	61		0.0%	13	4	5	23	8	4	4	
鉱業		3	3		0.0%			1		1		
建設業	土木工事	17 (5)	14	3	21.4%	9	5		2			1
	鉄骨・鉄筋家屋	4	4		0.0%			2	1			1
	木造家屋	21	7	14	200.0%	6	2	1	3		6	3
	その他の建築工事	3	7	-4	-57.1%			1	2			
	その他の建設	12 (5)	5	7	140.0%	8					3	1
小計	57 (10)	37	20	54.1%	23	7	4	8	3	9	6	
運輸交通業	道路貨物運送業	22	30 (4)	-8	-26.7%	9	2		5	3		3
その他の運輸交通業	3	6	-3	-50.0%	2			1				
貨物取扱			1	-1	-100.0%							
農林業	農業	2		2				1		1		
	林業	11	10	1	10.0%	2	2		1	1		5
畜産水産業	畜産業	6	7	-1	-14.3%	3			2			1
	水産業	2	4	-2	-50.0%							2
商業	小売業	34 (1)	22 (5)	12	54.5%	14	1	2	10	4	1	2
	その他の商業	5	6 (1)	-1	-16.7%	3			1		1	
通信業		7 (2)	8 (2)	-1	-12.5%	3		1		2	1	
保健衛生業	社会福祉施設	14 (1)	14		0.0%	4	1	1	3	3		2
	その他の保健衛生業	7	6	1	16.7%	4			2			1
接客娯楽業	旅館業	7	7 (1)		0.0%	3	1		3			
	飲食店	6	4	2	50.0%	4				1	1	
	その他の接客娯楽業	7	5	2	40.0%	5			1			1
その他	ビルメンテナンス業	3	3		0.0%	1				2		
	その他(上記以外の業種)	22 (1)	17 (3)	5	29.4%	7	1	1	4	5		4
合計	279 (17)	251 (16)	28	11.2%	100	20	15	65	30	18	31	
(注)平成28年 3月末の速報値である。					前年同期	86	17	17	52	35	19	25
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。					増減数	14	3	-2	13	-5	-1	6
					増減率	16.3%	17.6%	-11.8%	25.0%	-14.3%	-5.3%	24.0%

【表5】

平成28年 死亡災害発生状況（平成28年3月31日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	二戸	商業 (燃料小売業)	1月	日	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	破裂	トラック	ガソリンスタンドでダンプトラックにタイヤを取り付ける作業中、タイヤのチューブが破裂、サイドリングが吹き飛び、被災者の頭部に激突した。	
2	一関	製造業 (その他の製造業-その他)	2月	水	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	コンベヤー	チップふるい機の始業前点検中、ベルトコンベヤーのテールローラー部に巻き込まれた。	
3	大船渡	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	水	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	墜落、転落	作業床、歩み板	資材を覆うブルーシートをロープで縛る作業をしていたところ、よろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落、アスファルト路面に頭を打った。保護帽は被っていないかった。搬送先の病院で2週間後に死亡した。	
4	二戸	農林業 (木材伐出業)	3月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	激突され	伐木等機械	民有林の皆伐作業現場で、原木（長さ約14m、末口直径約15cm）を移動させるため、グラップル機で原木を掴んで旋回させたところ、歩いていた被災者の頭部に原木の末口が激突した。	
5	釜石	製造業 (その他の金属製品製造業)	3月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	ドラグ・ショベルで鋼管杭の蓋をつり上げる作業中、ドラグ・ショベルの右脇に近接していた鉄柵を番線で結束していたところ、ドラグ・ショベルが左旋回し、上部旋回体と鉄柵の間に挟まれた。	

【表 6】

平成28年死亡災害発生状況 (事故の型別等)

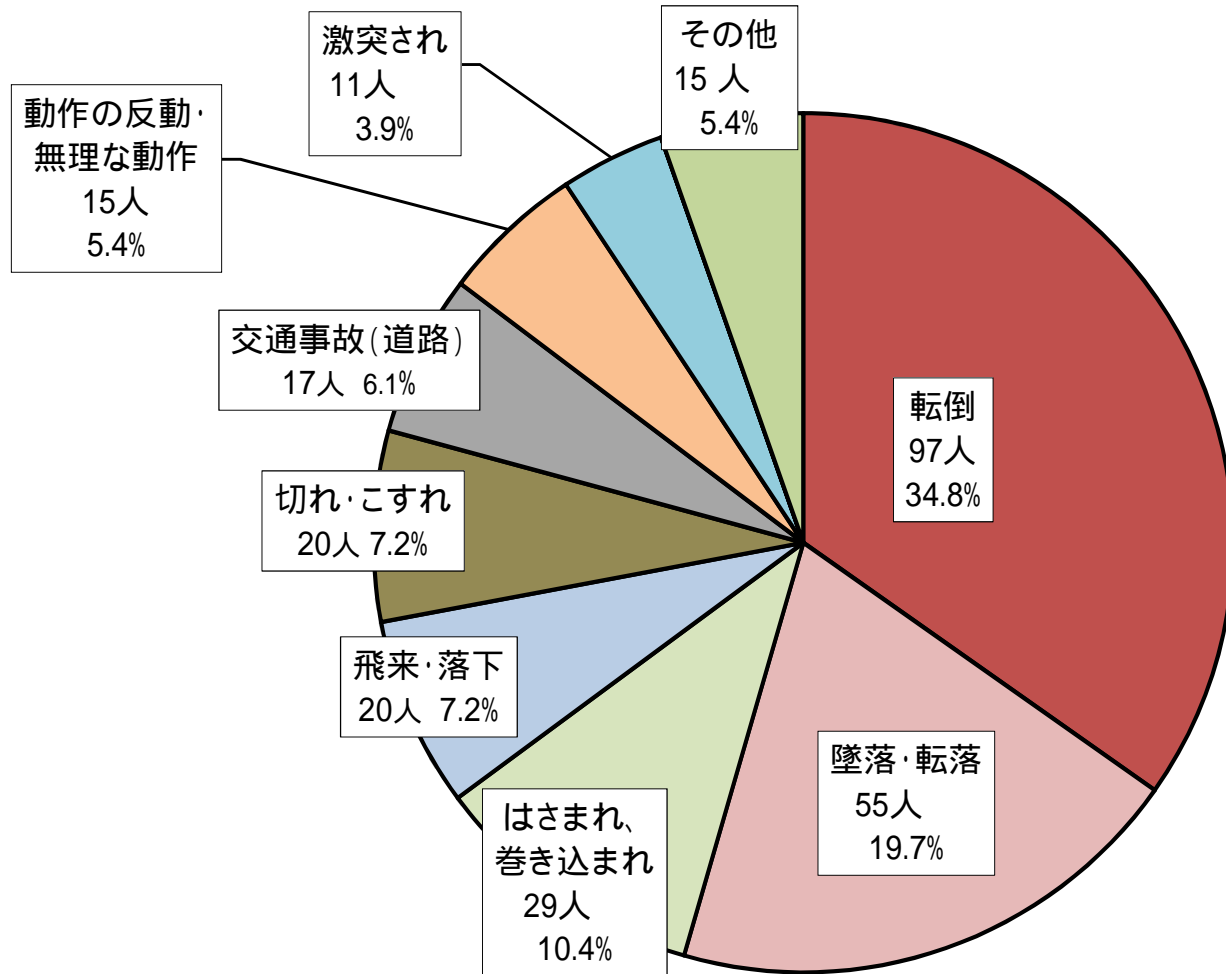
平成28年3月31日 現在

業種別	製造業 2人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 1人 (3人)	運輸業 0人 (1人)	林業 1人 (0人)	商業 1人 (1人)	左記 以外 0人 (0人)	5人 (前年同期 5人)
監督署別	盛岡 0人 (1人)	宮古 0人 (0人)	釜石 1人 (1人)	花巻 0人 (1人)	一関 1人 (2人)	大船渡 1人 (0人)	二戸 2人 (0人)	
事故の型別	墜落・ 転落 1人 (0人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 0人 (0人)	崩壊・ 倒壊 0人 (1人)	激突 され 1人 (0人)	はさまれ・ 巻き込まれ 2人 (0人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)	
	破裂 1人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 0人 (1人)	交通事故 0人 (2人)	その他 0人 (1人)	

注：()内は前年同期

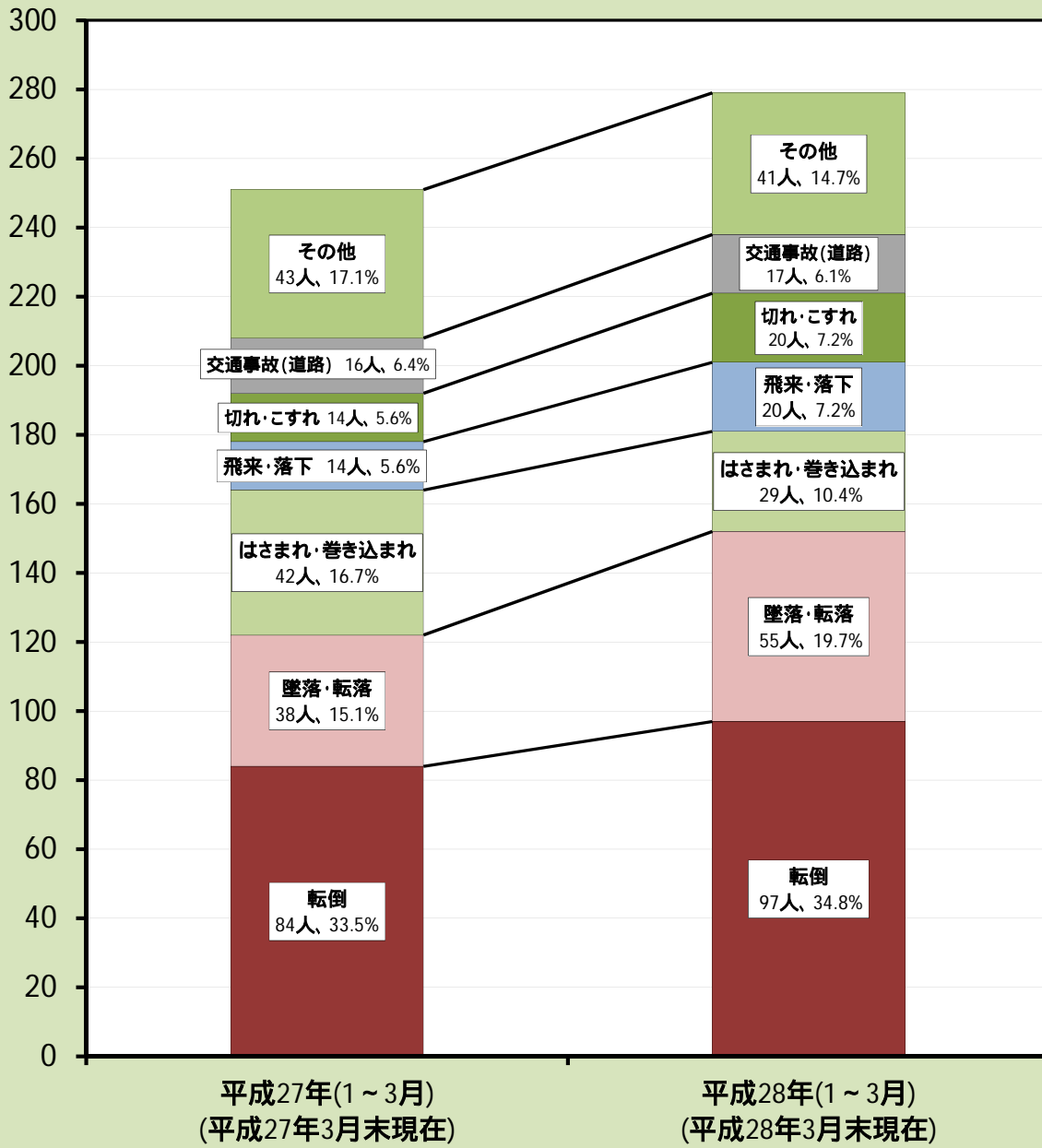
〔グラフ3〕 平成28年(1~3)月 労働災害発生状況 (事故の型別)

岩手労働局



平成28年3月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

事故の型別労働災害発生状況



業 種		28年1～3月	27年1～3月	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	水産食料品	5	3	2	66.7%	3	1	1										
	食料品	18	22	-4	-18.2%	6	5	7										
	上記以外の食料品																	
	繊維・衣服その他繊維製品	1	1	0	0.0%	1												
	木材・木製品、家具・装備品	7	9	-2	-22.2%	5	1	1										
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1	0	0.0%			1										
	化学工業	3	2	1	50.0%	2	1											
	窯業土石製品	4	4	0	0.0%	1	2	1										
	鉄鋼業、非鉄金属		1	-1	-100.0%													
	金属製品	12	4	8	200.0%	7	3	2										
	一般機械器具	1	4	-3	-75.0%				1									
	電気機械器具	2	3	-1	-33.3%	2												
	輸送用機械製造	5	2	3	150.0%		3	2										
電気・ガス			0	#DIV/0!														
その他の製造業	2	5	-3	-60.0%	1	1												
小計		61	61	0	0.0%	28	17	16										
鉱業		3	3	0	0.0%	1	2											
建設業	土木工事	17	14	3	21.4%	11	5	1										
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	4	4	0	0.0%	2	2										
		木造家屋	21	7	14	200.0%	8	6	7									
		その他の建築工事	3	7	-4	-57.1%		1	2									
	その他の建設	12	5	7	140.0%	6	4	2										
小計		57	37	20	54.1%	27	18	12										
運輸交通業	道路貨物運送業	22	30	-8	-26.7%	11	3	8										
	その他の運輸交通業	3	6	-3	-50.0%	1	1	1										
貨物取扱			1	-1														
農林業	農業	2		2				2										
	林業	11	10	1	10.0%		7	4										
畜産水産業	畜産業	6	7	-1	-14.3%		3	3										
	水産業	2	4	-2	-50.0%	2												
商業	小売業	34	22	12	54.5%	16	8	10										
	その他の商業	5	6	-1	-16.7%	4	1											
通信業		7	8	-1	-12.5%	1	4	2										
保健衛生業	社会福祉施設	14	14	0	0.0%	7	6	1										
	その他の保健衛生業	7	6	1	16.7%	6	1											
接客娯楽業	旅館業	7	7	0	0.0%	4	2	1										
	飲食店	6	4	2	50.0%	1	2	3										
	その他の接客娯楽業	7	5	2	40.0%	2	3	2										
その他	ビルメンテナンス業	3	3	0	0.0%	3												
	その他(上記以外の業種)	22	17	5	29.4%	11	8	3										
合計		279	251	28	11.2%	125	86	68										

(注)平成28年3月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。